

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	一般レストラン（店長）	・初来店客が増加している上、市外からの客が増加しているなど、人の動きが感じられる。
	やや良くなる	百貨店（販売促進担当）	・衣料品の動きがポイントになるが、来客、売上の動向からみてプラスとなる。
		百貨店（売場担当）	・ブーツや冬物の商品は気温の影響を受けることから、気温が下がるに連れて多少の動きがある。
		コンビニ（エリア担当）	・長時間スーパーやコンビニの競合する出店もないことから9月も好調に推移しており、お客様の戻りや客単価が高く、財布のひもも少しずつゆるくなってきていることが実感できる。
		旅行代理店（営業担当）	・年末に向けて、平和を脅かす事象がなければ、大丈夫である。
	変わらない	競艇場（職員）	・12月の年末になると、全国発売の大型レースなどがある。
		商店街（代表者）	・台風による被害の修復が2、3か月続く見込みで、ほとんどの消費が建築業へ向かう。
		百貨店（購買担当）	・今冬は暖冬との情報があり、コートなどの高額重衣料の動きが鈍くなり、リーズナブルな軽衣料のみの動きで終わってしまう。
		百貨店（売場担当）	・来客数は平均的であっても、販売単価や客単価が落込んでおり、今後も回復する兆しは見られない。
		百貨店（販売担当）	・競合店のリニューアルによる影響が残っている上、12月のクリスマス商戦についても、現在の景気の低迷を考えるとあまり期待できない。
		百貨店（営業担当）	・暖冬が予想されるため、冬物衣類の売行きが悪化する。
		スーパー（店長）	・相次ぐ台風による多くの顧客家族の被害や、米の作況指数が大幅に低下するなど地域特有の特殊要因がある。
		スーパー（店舗運営担当）	・来客数増加は今後も続くと思込まれるが、競合店との兼ね合いから買い回り客が引き続き多く、買上点数は伸びてこない。
		スーパー（総務担当）	・夏場の好調さが秋口に落ちるか懸念していたものの、意外と持続しているため、しばらくこの状態が続く。
		コンビニ（エリア担当）	・既存店出店や、年末関係の商談においてもかなりいい引き合いがでているなど、年末に関しては好調に推移する。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・数量的には変わらないが高額商品の動きが出ている現状から、今後、客単価が上がってくる。
		衣料品専門店（店長）	・ビジネスマンのスーツの売上はやや厳しく、単価的にも低価格調の動きが目立つため、将来も3か月前と変化が見られない。
		衣料品専門店（販売促進担当）	・全体的に見てバーゲンの時期が早まっていることもあり、高額商品の販売が難しくなっている。
		家電量販店（副店長）	・AV、白物、OA機器など各部門の新製品が発売されてきているが、購買意欲を一気に高めるほどのものはない。
		家電量販店（予算担当）	・来店客が減少傾向にあるが、平均単価はやや上昇しているため売上の変化はみられない。特にこれといったイベントもなくボーナス商戦まで我慢が続く。
乗用車販売店（販売担当）		・新車の販売量は現在の傾向が続く。11月に新型車の投入があるが、4年前の新車投入時と比べると大きくは望めない。	
自動車備品販売店（店長）		・7月、8月と前年の売上数量以上であり、9月に入っても堅調であることから、これからもこの状況が続く。	
高級レストラン（スタッフ）		・個人の利用は変化が見られないが、企業の利用は以前と比べ減少傾向にある。	
一般レストラン（経営者）	・競合店出店にも関わらず、今のところ来客数には全く影響が見られず、3か月後も変化がない。		
一般レストラン（店長）	・大型ショッピングセンター内に我が社も初めてファーストフード店を出店するが、大型ショッピングセンター近隣店舗の落ち込みが大きいので現状から変わらない。		
都市型ホテル（総務担当）	・婚礼は例年と比べて変化がなく、一般宴会の受注も現状と変わらない。		
都市型ホテル（従業員）	・宿泊バスツアーの集客状況が、2か月先ぐらいいまでは前月と同じ程度である。		
都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊客は個人客が多く、団体客の予約が悪い。		

		タクシー運転手	・夜の繁華街の利用者は以前より上向き傾向にあるが、公共交通機関を利用しての帰宅がほとんどで、タクシーの利用者は増加していない。また、増車の影響もある。
		その他レジャー施設 [温泉センター] (営業企画担当)	・11月度以降の宴会予約状況は、ほぼ予定通りに推移しているがまだまだ楽観できない。
		住宅販売会社 (経理担当)	・今回の新規発売物件は大型物件にもかかわらず、立地条件などが好評でモデルルームへの来場者数や契約数が順調に推移していることから、当面この傾向が続く。
やや悪くなる		一般小売店 [印章] (営業担当)	・例年と比べて当社への来店者数も減少しているが、市全体で見ても観光客の減少が目立つ。
		百貨店 (売場担当)	・1割引、2割引の割引販売への顧客の反応も非常に鈍くなっており、セール展開も、超目玉品しか動かない。
		スーパー (店長)	・新規競合店出店と競合店改装の影響がある。
		衣料品専門店 (地域ブロック長)	・気温の下がり方が例年より遅く、秋冬物商品の立ち上がりが遅れている。そのため、販売期間が短縮され、売上は苦戦する。
		乗用車販売店 (統括)	・原油価格の高騰で、単価の低い軽自動車に移行が始まると、売上額全体が悪くなっていく。
		その他専門店 [時計] (経営者)	・台風で家屋などの被害修繕にお金を使い、他のものにはまわせない。
		その他専門店 [スポーツ] (店長)	・近隣店舗のリニューアルオープン、新規オープンにより売上が他店へ分散する。
		旅行代理店 (経営者)	・直前になって受注が発生する可能性もあるが、12、1、2、3月分の受注はまだまだ低調である。
		通信会社 (通信事業担当)	・新規顧客の獲得数の伸び悩みに加えて、解約数も増加傾向にあるので、純増加数がなかなか増えず、今後も厳しい。
		悪くなる	ゴルフ場 (営業担当)
企業動向関連	良くなる	輸送用機械器具製造業 (経理担当)	・11月より最大生産能力を上回る受注予想の製品があり、対応に苦慮している。
	やや良くなる	食料品製造業 (総務担当)	・9月に入り、各メーカーとも例年に比べ新商品の販売を1か月程度早めた影響で、商品の動きが良い傾向にあるが、今後各メーカー間の競争が激化する。
		化学工業 (総務担当)	・先月とほとんど変わりはない。経費節減や業務の合理化・効率化などの社内体制の整備により少し利益が出るようになったが、依然として物流費や原燃料費高などの影響を受け収益面での景気回復は厳しい。今後は、原燃料費については石炭税などが収益に影響する。
		一般機械器具製造業 (経営企画担当)	・他社から仕入れた商品の販売について、今まで売上が低迷していたのが回復の兆しを見せている。
		輸送業 (統括)	・これから始まる市町村合併での新規業務発生や、新紙幣発行に伴う輸送業務増加が期待できる。
		金融業 (営業担当)	・鋼材や原油など原材料のレベルが心配であるが、年末にかけて公共工事の発注などが見込まれ、企業間においては今後の受注に対してかなりの期待を持っている。
変わらない	食料品製造業 (総務担当)	・ダイレクトメールなど、広告によって売上は一時的に上昇しているが、この好調な状況が持続できるか先行きは不安定である。	
	窯業・土石製品製造業 (総務経理担当)	・生産水準は飛び込み受注や大型案件の受注により下半期まで高水準を見込んでいる。また時間外労働も高水準である。値引き要請が多いが販売価格は原料高騰のため変更する予定はない。	
	鉄鋼業 (総務担当)	・中国を中心とした需要がしばらく続く。特に自動車・産業機械関連など中国への輸出が多い分野での国内需要などは堅調を持続、造船なども依然として堅調であることから変わらない。	
	金属製品製造業 (総務担当)	・受注量に関しては、今後3か月はほぼ今月と同様に好調に推移していく。それに伴い原料の高騰が懸念されるため、今月と3か月後の結果は現状と変わらない。	
	電気機械器具製造業 (総務担当)	・携帯電話の巻き返しが不透明ではあるが、自動車部品、家電が底固く安定している。	
	電気機械器具製造業 (広報担当)	・液晶の値段が低下する傾向が見られ、この傾向はしばらく続く。	
	建設業 (経営者)	・他業種では若干いいところもあるが、依然として多数は悲観的であり、業界特性上、他業種の好不調の影響を受けることから、今後も厳しい。	

		通信業（営業企画担当）	・音声通信（電話）の全面的IP化や、通信料金体系見直しなどの構想が具体化するにつれて、業界の顧客獲得競争は新たな展開に向かっており、既存事業者が従来の収入を維持することは至難である。
		金融業（業界情報担当）	・足元の受注は高水準だが、米国自動車販売の伸び悩みと原油高に伴う原材料コストアップが徐々に顕在化してきている。
	やや悪くなる	コピーサービス業（管理担当）	・価格競争が厳しい状況は変わらない。自社内のみではコスト的に対応が難しく、同業者協業などの対策が必要である。
	悪くなる		
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（支店長）	・中京地区、首都圏の求人パワーの影響は、ここ広島でも一部見えて始め、どこの企業も求人に関しては一斉に、しかも横並びに動きは始めているが、一方で過熱したあとの反動も十分ありうる。
		職業安定所（職員）	・来年卒業予定の高校生向け求人募集が、前年比で大幅に増加していることから、雇用環境に改善の傾向がみられる。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・人材派遣の需要は堅調で、幅広い職種に広がってきているが、企業の雇用に対する姿勢は慎重で、有期雇用社員を増やす傾向はあっても、雇用全体の力強さに欠けている。
		求人情報誌製作会社（支店長）	・多くの企業が、先の見通しについて悪いイメージは持っておらず、逆に明るさを感じている企業が多い。
		職業安定所（雇用開発担当）	・求人数の伸びは鈍くなっているが、今後大幅に減少する要因も見当たらない。
		民間職業紹介機関（職員）	・申告所得が約19億円の優良企業が中国工場（大きい工場）のトップから全員を中国人に替えて、日本人の経営層・労働者をゼロにする予定であるなど、日本人の雇用の場は減る一方である。
		学校〔大学〕（就職担当）	・企業側に9月、10月で求人の内容、採用を固めたいという意欲が見られるが、好調な業種には偏りがあり全般の求人あるいは求職につながると思えない。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	・大型量販店の相次ぐ進出で地域経済は活性化しているように見えるが、各社とも必要な人材は臨時契約やパート、アルバイト、派遣で対処しているのが現状で、良質な雇用に結び付くような求人は決して多くはない。地場企業の各社からも景気が好転するようなニュースは聞かれず、地域経済の先行きはなお不透明である。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・求職者数にあまり変化は見られないが、管内企業に業務縮小の動きがある。
悪くなる	-	-	